

てんぎょう 轉教

2016 7 JULY

平成 28 年 7 月 1 日発行
編集兼発行人 山本 久男
発行所 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6-6-11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



ご奉公のこころ

てんじゅうきようじゆ 転重軽受のさとし

水谷 信洋

日歎上人の懐旧談^{かいきゆうだん}に、明治三十四年ころの乗泉寺は雨漏りのひどい、畳の^{たたみ}くさった荒寺だったというお話がありました。それが寒参詣をはじめると次第に参詣者も増加して教化も出来だし

て発展したとのこと。それを聞くと、信徒が一万を数える大寺院も初めは一軒一軒の新人信者のご利益感得の喜びが積み重なったもので、どんな悪条件からでもご利益があらわれさえすれば

御弘通は発展するものと教えられました。
た。

開導聖人の御指南にも、よく似たご苦勞をなさって京都の宥清寺を發展させた懐旧談が残されています。

法華宗妙蓮寺貫首日成上人の許しを得て宥清寺を佛立講の修学所として借り受けた当時の宥清寺は、晷は朽ち果てて合わせ目より竹が生えているという程の荒寺でした。お金がないのはいちもくりようぜん、一目瞭然で、豆腐屋が豆腐一丁を貸すのもことわる位で、盗人など頼んでも来てはくれません。それが何と二十数年の後には、十人ばかりの強盜が抜き身の刀をひっさげて押し入るほどの

繁盛ぶりに変わったのです。

この事件を見て、信心の心得が浅く自分考えの根強い信者が、「これは清風先生が御罰を被ったのだ」と騒ぎ触れ回って他の信者を不安のどん底に突き落とそうとしました。そんなことをして何の利益があるというのでしょうか。誰のためになるのでしょうか。過去世も未来世も見通すことのできない我々末法の凡夫は、災難に見舞われた時は過去世の悪業の報いと謙虚に受け止めるべきなのです。また、妙法のご加護によって未来墮獄の苦しみを今生に前倒しして軽く受けさせていたのだと受け取ることを教わっています。

す。てんじゆうきようじゆ
(転重軽受)

お寺に押し入った強盗団が他の家に入って家人かじんに手傷をおわせたことなどを考え合わせると、まずは誰もケガをせずに済んだことは剣難けんなんの定業じやうごうを転じて軽く受けさせていただいたご利益と喜ぶべきでしょう。

日蓮聖人が竜の口とうじようで刀杖とうじようの難を逃れた時に、これは来世墮獄の苦しみを今生にて軽く受けさせていたいただいたご利益であるとお述べになっています。しかし信者は千人のうち九百九十九人までが自分考えを起して退転してしまいました。

新本堂が地下にあるのは怪けしから

ん。かび臭くさい薄汚うすよごれた地下の本堂は不敬であると、完成した本堂を見もしないで退転した信者もいます。

このような人たちは、平穩な時には信者として御題目を唱えているようでも、大事な場面にさしかかった時にかぎって自分の判断を頼りとして、御題目にお願ごんいする心を忘れてしまうのです。熱心な信者でさまざまなご利益を経験した人でも、「またしてもまたしても強盛ごうじやうの悪縁あくえんにたぼらかされて信心を失う者あり」とお祖師様にご注意くださっています。

7月のご奉公のすすめ



お盆のこの時期は、私達のお寺を周囲の方々に知って頂く絶好の機会です。親類家族や身近な人々を夏期参詣や開導会に誘って、下種結縁のご奉公をさせて頂きましょう。

いている喜びを話しあいましょう。

・「開講本旨再興祈願」

朝参詣週間

1日(金)から7日(木)

・「開講本旨再興祈願」

口唱会

24日(日) 午前9時半

一、随喜轉教について

家族にご信心の話ができれば菩薩を育てるご奉公ができます。夏休みこそ、子や孫との時間を積極的につくり、お守り頂

二、夏期参詣について

新本堂での初めての夏期参詣です。例年通り7月1日(金)

7月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日～31日 夏期参詣

1日(金) 開講本旨再興祈願総講

午前10時半

// 開導会奉修費・御供米

料、参詣人数申込締切

2日(土) 運営会議 午前9時半

9日(土) 連合幹事会

午前9時半

// 後続者育成連絡会

午前10時半

10日～16日 開導会無事奉修

祈願朝参詣週間

12日(火) 夏季総回向御回向・

から31日(日)までの31日間です。道中不案内な方々と共連れ参詣を心がけましょう。なお、勤行は平常通り午前7時から8時30分、ご法門は7時45分からです。日曜日にはご利益談の発表があります。

三、開導会奉修

開導日扇聖人祥月御命日の7月17日(日)に、当山の開導会が奉修されます。

第一座 午前10時

第二座 午前11時半

第三座 午前12時半

特別教区

開導日扇聖人への報恩感謝の思いをこめて大勢で参詣させて

頂きましょう。

7月1日(金)までに奉修費・お花料・御供米料は教区でまとめて寺務所にお納め下さい。参詣予定者数は教区でまとめて受持お講師に報告して下さい。

四、夏季総回向の予告

今年の夏季総回向は、8月7日(日)に勤まります。ご先祖や有縁の方々に感謝と慈悲の心を込めてご回向をさせて頂きましよう。

なお、ご回向・お塔婆の申込みは7月31日(日)までに教区でまとめて寺務所にご奉納下さい。

御塔婆申込締切

13日(水) 高祖大士御命日総講

午前10時半

16日(土) 開導会準備ご奉公

午前9時半

17日(日) 開導会

第一座 午前10時

第二座 午前11時半

24日(日) 開講本旨再興祈願

口唱会 午前9時半

25日(月) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

31日(日) 夏期参詣終了
(6月より30分繰り上げて開催)

夏期供養奉納締切

夏期供養奉納締切

日歎上人御祥月法要のご挨拶



一

新本堂への引越の作業中に、日尚上人ご遺品の中から、東京第二支部創立20周年を記念して作成された日歎上人の懐旧談や御法門を録音したレコードが見つかりました。雑音も少なく良い状態で保存されていたので、こうして皆さんに懐旧談を聞いていただくことが出来ました。

二

お話を伺っていますと、第三世講有日随上人の格別のご配慮で乗泉寺が東京第二支部と認め

られ発展したことがよくわかります。本堂に祀られた大御本尊には大正7年12月佛立開導第三世講有日随とご署名があります。これは東京第二支部が出来が、これは東京第二支部が出来て弘通が発展し、日随上人が御巡教で東京にお越し下さった折りに御染筆頂いた御本尊です。その歴史を物語る御本尊を今も我々本旨講が護持させていただいているのです。

三

また、日歎上人が本門法華宗の大本山妙蓮寺から乗泉寺住職

平成28年5月の寺内行事報告

1日～7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間

1日(日) 開講本旨再興祈願総講

午前10時半から奉修

4日(水) 新本堂へ引越し、

午後4時から御開眼式を奉修

5日(木) 晨朝勤行を午前7時

から開始

7日(土) 運営会議午前9時半

13日(金) 高祖大士御命日総講を

午前10時半から奉修

14日(土) 連合幹事会を

午前9時半から開催

// 後続者育成連絡会を



の辞令を頂いたのは明治34年。
 (日晨上人2歳、開導聖人13回
 忌の前年)そのころの乗泉寺の
 有り様はお聞きになった通りで
 すが、雨漏りのひどい畳の腐つ
 た荒れ寺だったという姿は今で
 はちよつと想像もつきません。

それでも、寒参詣を始めてから
 徐々に参詣者も増え御教化も出
 来てお寺が発展したどうかか
 い、我々佛立本旨講妙應寺も同
 じ思いで弘通発展を目指してゆ
 けば、きっと百年先まで妙法の
 ご利益が伝わり広まってゆける
 と確信しました。

四

新本堂に来て、改めて乗泉寺
 創建当時の懐旧談が聞かれたの
 は御計らいに違いありません。
 教講一同協力し合ってこれから
 の御弘通御奉公に精進させて頂
 きましよう。

佛立本旨講妙應寺 住職 日在

午前10時半から開催

17日(火) 開導聖人御命日総講

午前10時半より奉修

22日(日) 蓮華会鍊成会を午前7

時半から開催、葛西臨海水族

園へ

// 開講本旨再興祈願口唱会

午前9時半から奉修

25日(水) 門祖聖人御命日総講

を午前10時半から奉修

// 正副教区長会を午後1時よ

り開催

29日(日) 日欽上人御命日法要

午前10時半より奉修

31日(火) ゆりかご園募金

締切り

日歎上人御祥月法要にて上映

日歎上人御懐旧談



私が乗泉寺住職となった当時の逸話をしてみたいと思う。

明治34年12月、京都大本山妙蓮寺から乗泉寺住職の辞令を下付せられ、その時は私は年は33歳。まだ独身であります。本所の清雄寺師匠のおそばでご奉

公をさせていただいておる最中
であります。そのときは、乗泉
寺は無住であつて顕本法華宗の
僧が周易（占術の一つ）の看板
を表にかけて、占いを渡世にし
て留守番をしていたまことに醜
いお寺であつたのであります。

乗泉寺へ入つてみれば、実に
もう話にできないほどきたない
お寺でありました。

屋根の雨漏りがひどいため
に、本堂でも庫裏でも畳がボロ
ボロに腐つてしもうて、実に話

にならないきたない有様であり
ます。お祖師様のお座りあそば
している御礼盤は売つてしもう
て、古い塔婆をもつてきてそれ
を切つて、打ち付けて、その上
に唐紙を張り付けて、その上
にお祖師様がお座り遊ばせてご
ざつて。

こういうわけであるから、早
速、檀家の方へ回つて一つ有志
をしてもらわねばならん。方々
住職具状に行こうと思つてい
たら、住職の着るような衣がな
いので、それから光隆寺の御導
師に衣を借りた。ちようど45
6軒の檀家があつた。けれども、
御有志のことを頼むと、先の住



大正時代の乗泉寺

職が信用ならなかったでの、当分の間は御有志はお断り申し上げますという。そこで、「本堂の畳替えのため、檀家中をお経を読みに歩きたい。それでお布施をもらうわけにはいき

ませんか。」

「では差し上げます。」

みんな承知してくれた。

7月に施餓鬼を務めたが、当日は、10時ごろからぷらりぷらりと墓参り、本堂へあがって、御宝前に、お賽銭を出してお辞儀をして、お題目も上げないで、御膳を食べて、みな帰ってしまおうというような、有様。

その年の暮れに1月の寒参詣の話を書者にして、みなそれぞれ、教化誓願を立てまして、朝早くからどうぞお参りください、と御信者に話した。そうすると、ありがたいことに、今までは、一人もつらい参詣をやる

信者はなかった。それがもうその年から、御信者がお参りをするようになる。教化ができるようになる。実に、ありがたい。ま、それで、来年の寒参詣が楽しみになって、それでもう御信者も楽しみにする、わたしの楽しみにする、というような具合で、益々益々、栄えるようになったのであります。（要約掲載）

【お知らせ】

「日歎上人御懷舊談」は当時のSPレコードに収録。この全文に「乗泉寺史」に収録の関連写真で編集したビデオを5月29日の法要の際に上映いたしました。このビデオは、インターネットでご覧になれます。

<https://youtu.be/TsuJXT1D7A>

錬成会で三世代の交流

品川教区

Kさん



5月22日(日)蓮華会・くんげ会の錬成会が奉修されました。

今回は、葛西臨海水族園です。

新本堂のある巢鴨からバスで約30分で到着。園内には、世界中の魚や東京湾に生息する、さまざまな生物が展示されています。中でも有名なのは、クロマグロです。数年前に百五十匹近くいたクロマグロが突然いなくなりしました。未だに、ハッキリとした原因が分からないそうです。でも、その心配とはよそに七十匹程のクロマグロが元気に

泳いでいました。遥々^{はるばる}と高知県から運ばれたクロマグロだそうです。

水族館の見学の後は、天気が良いので外の芝生でご供養を皆でいただきました。やはり、野外で皆と食事をするのは美味しいですね。

その後は、並びっこ競争と言うゲームをして遊びました。

今回の錬成会では、子供達の成長の早さに驚かされました。一年に一回の錬成会ですが、交流することは大切ですね。ただ

今回は、参加人数が少なかったのが残念です。錬成会は、合同御講と違い初めての方でも参加しやすい行事です。来年は、もっと参加人数が増えるように頑張って将引したいです。



本駒込の思い出

川越教区 Oさん

新本堂が巣鴨に！ と聞いたとき、何と不思議なご縁でしょう、とびっくりしました。

大東亜戦争終戦の昭和廿年、



新本堂前で御導師と

私は本郷三丁目にあった第二師範学校女子部に入学しましたが、授業が受けられるようになったのは、八月十五日の終戦を迎えてからでした。当時は何しろ物資が不足で、まだ食料は配給制度、衣料も切符が割り当てられ、その範囲でしか入手できないという有様でした。

その頃の巣鴨・駒込周辺は、商店らしいものはなく、六義園も荒れ果て、出入りも自由で、よく学校帰りに寄ったものです。夏休みには、人形劇や紙芝居を作り上演しました。戦争中は出来なかつた事なので、子供達は大喜びでした。忘れられ

ないのは、そめいのうがくどう染井能楽堂で近隣の方々が、たきぎ初秋の頃薪を所々にかけ、たきぎのう一晚薪能をやってくださいました。それこそ筆では表現できない不思議な雰囲気の中で、夢のようなひと時を過ごすことが出来ました。

こうして、昔を振り返って見ますと、私は、この土地で学校の授業以外に沢山のものを学び得たような気がします。そして今、これからも新本堂で、時の許す限り、御信心を通して又新しい気持ちで学べる様に感じました。今年六月で満八十八歳を迎え、生涯現役で、私の出来るご奉公をさせていただきます。

一命をとりとめる

都教区 Sさん

昨年どしの十一月の末に、心房細動しんぼうさいという不整脈からの頻脈による発作どしがおきて緊急入院をしました。

ですが、皆さんの応援祈願、お助行の励ましを頂いたお蔭で、本日、甲御講の席主をさせて頂くまでになりました。

ひと月の間に三回も大発作を起こし、年末の発作の時は意識も失い、血圧も六十まで下がってショック状態を起こしました

が、職場の方の機転で一命をとりとめることができました。

自分としては、仕事は引退と諦あきらめておりましたが、社長が

「Sさん、今は即断で返事はしません。しばらく休んで、とにかくからだを直して下さい、今後の事はまたその時考えましょう」と、温かい一言葉をかけてくださいました。

本当に暗闇の中から一筋の光を見るような気がしました。

それから二月の中ごろから徐々に、食欲も出てきて、体調も少しずつ良い方向に向かつてきました。

お寺参詣も毎日したいと思っていました。

そんなおり、家内から、「まだ、朝参詣する体力は戻っていませんか？」と聞かれましたので、「そんなことはないけれど、交通費の事を考えたら毎日行かない」と言いましたら、「定期があれば、交通費の事を気にせずにお寺へ行けるでしょう」と、定期を購入してくれました。

これからもお寺参詣を続けながら頑張りたいと思います。

■私のよろこび

弟のおまもり

大阪教区 Hさん

リップがこげてポロポロになっていました。弟の手も真っ黒でした。

おかあさんが「しんじょうよ！」といました。

弟の手は黒かったけど、やけどはしていませんでした。

弟が死なずに、むきずでいられたのは、ごほうさまがまもってくれたおかげだとおもいました。

ありがとうございます。

このあいだ弟がクリップをつなげてコンセントの穴にさしこみました。

火花がバチバチつとつびはねて、たいへんなことになったとおもいました。

弟はびつくり顔で「ごめんなさい、ごめんなさい」と、いつていました。おかあさんが、とんできて、とつてもおこりませんでした。

コンセントの穴を見ると、ク

大阪教区特別御講

Hさんのお席にて

(五月十五日)



子ども達の口唱会を全連合で！

五月十日、第二地区次世代育 して頂きました。

成助行が、多摩連合 Hさんのお宅で行われました。当日はお休みがとれ、色々な体験をお話

Hさんは元水泳選手で、学生の頃、今の新本堂に近い大和郷やまとむらの幼稚園で子供さんたちの水泳指導もした



ことがある
とのこと。
本間さんの
提唱したハ
ダシ教育が
今も行われ
ているとの
こと。其頃
の子供さん

たちも今は四十歳近くになっていて、再会があれば楽しみですね。







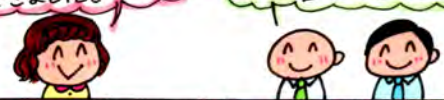


またHさんは昨年体調を崩し、病院で診てもらったところ血糖値けつとうちが急上昇。病院の指導を受けつつ、お供水と食事の節制と昔鍛きたえた水泳で見事克服。お計らいを頂きました。

多摩連合では今、子供さん達を中心に、毎月お寺で口唱会をしています。若い人たちの横つながりが出来るよう、他の連合地区の皆さんにも参加を呼び掛けています。是非ご参加ください。

(根上信浄師)

★こどもたちの会★

じまごよう ほうこう お助行ご奉公もしてみよう!

<p>不安な事や心配事をみんなで一緒に考えるって素晴らしいな～!!</p> 	<p>今日は東京の護法委員さんのお計らいで、隣の県へお助行ご奉公なんだけど…私なんかで大丈夫かな～…</p> 
<p>子供の事で色々とお悩みがある…</p> <p>私も子供がいるから、少し分かるかも。</p> 	<p>ちょっと不安だけど、でも貴重な体験だから、頑張ってみよう!</p> 
<p>ありがとうございます! がんばります!</p> <p>お母さんの気持ち分かります! ぜひ一緒に頑張らしましょう!!</p> 	<p>ありがとうございます。初めての事なので、お役に立てるかどうかが、</p> <p>今日は2件のお助行です。宜しくお願いしますね。</p> 
<p>今日はありがとうございました! みなさん温かくて、とても貴重な体験ができました。</p> <p>あなたの様な若い方が御奉公してくれて、みなさん本当に喜んでいましたね。</p> 	<p>不安な事がある、この先どうなるのかと…</p> <p>みんなお悩みがあるんだなあ…</p> 
<p>ハイ! ご信じていて本当に良かったです!</p> <p>ぜひまた一緒にご奉公しましょうネ!!</p> 	<p>ハイ!! 頑張ります!!</p> <p>みんな沢山の不安を抱えています。色々悩まずに、ご祈願とお看経で乗り越えましょう!!</p> 